

一般質問

9月定例会では、23人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

「わったいな」と畜産振興

小谷 茂 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 ①「わったいな」を運営する(株)食のみやこ鳥取の決算報告は「基本的な経営改善が不可欠」としているが、県は指導すべき②県食肉センターへのISO22000の取得を推進し、輸出対応できる設備整備の支援を③受卵移植事業を推進する畜産振興協会は、体制が不十分であるためサポートを。

答 ①JAグループ等の考えを踏まえ、サポートしていく②衛生管理施設の整備も含め、取得について積極的に支援する③事業が軌道に乗るようサポートする。

林業後継者の育成

内田 博長 議員



選挙区 日野郡 会派 自由民主党

問 ①林業後継者となる若手従事者の育成が急務となっているが、体系的に林業を学習し、即戦力として事業体に送るシステムが必要ではないか②作業機械の技術指導においても現場で研修して安全確保を図るようすべきでは。

答 ①後継者をつないでいく研修のシステム整備が必要であり、新システムの導入に向かっている②車両系林業機械使用を前提とした作業体系における安全確保が図れるよう事業体や現場のニーズを踏まえた支援策を実施したい。

経済活性化と国際交流

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

問 ①東京五輪に向け、県内ジュニア選手育成のため、世界レベルの選手と接する機会を創出すべき②県内企業の東南アジアへの進出や販路拡大、観光客誘致の支援策は③建設業従事者の給与改善に努力した事業者は、入札の格付けや評価点で優遇してはどうか。

答 ①新年度予算に向けジュニア育成などの考え方を整理するが、スポーツの国際交流は重視したい②

タイ、台湾を中心にトップセールスも含め、交流を推進したい③提案は理解できるので研究してみたい。

米子空港の駐車場拡張を

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 米子鬼太郎空港へスカイマークが新路線を就航する。北東アジアのゲートウェイとして、駐車場などの空港機能の充実についてどのように整備を進めるのか。

答 駐車場については現在562台あるが、これで足りるのかどうか検証が必要。米子空港利用促進懇話会や境港市とも協議し拡張の可能性を考えていきたい。

新たな重、心身障がい者支援

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 県内の重症心身障がい児・者314人のうち185人が在宅で生活。食事や排せつといった介護に加え、人工呼吸器の管理やたんの吸引が必要で、家族の負担は大い。在宅介護を支援する施設等の整備をすべきではないか。

答 医療対応が可能なショートステイ等ができる支援施設の不足感はない。既存の医療施設を活用して受け入れ体制を充実するた

め、来年度から受け入れ施設への人的配置、施設の改修を支援する県独自の支援制度を考えたい。

手話、福祉、大路川の防災

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ①健康維持増進や病氣・介護予防対策として「健康マイレージ」制度の推進を②ハートフル駐車場に庇や屋根設置を③大路川の判断水位の見直しを④手話普及の施策を。

答 ①当初予算に間に合うかどうかはあるが、「健康マイレージ」制度の導入を近々にやっていく②鳥取空港は速やかに設置する。他の県有施設はできるだけ対応する③年内をめどに速やかに大路川の判断水位を見直す④(教育委員長)手話教育推進コーディネーターを配置し、聾学校生徒と健聴の子どもの交流を進める。

鳥取看護大学実現に向けて

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 無所属

問 看護師不足が叫ばれる中、藤田学院による看護大学構想に対する県の態度は受け身ではないか。

答 基本的なスタンスは(積極的な)議員と一致している。学生の確保は一定程度あると判断でき

実習の場、教員の確保も着々と整っているのが現状だ。議会の御審議をいただきながら支援に向けて動きたい。中部広域連合において大学の求める公的支援の半額を負担してはどの方向も聞いており、大学の収支の状況を見ながら地元と一緒に協議し支援のスタンスをまとめた。

鳥取県の教育支援の強化を

国岡 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 かけはし

問 ①義務教育課程での学力向上策と、企業や地域リーダーを育てる専門高校への支援策を問う②小学校から企業まで連携して子どもたちを育てるスクラム教育の拡大を提言したい③高校間の体育・文化装備の格差是正について伺う。

答 ①土曜授業の一部復活もいと思う。教育支援の強化を図り、教育を通して地域社会を発展させるよう県教委と協調していきたい。(教育長) ②拡充する方向で検討したい③全県的な視点で必要性を検討し整備を進めることを考えたい。

会派正式名称

自由民主党…鳥取県議会自由民主党
絆…鳥取県議会会派「絆」
かけはし…会派「かけはし」
公明党…公明党鳥取県議員団
共産党…日本共産党鳥取県議員団

※所属会派は9月定例会時点のもの

保育無料化と不妊治療対策

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 日本で初めて第1子からモデル的に市町村が取り組む保育料無料化のための経費の半分の鳥取県として助成してはどうか。

答 市町村がそついうことを考えるのであれば、何がしかしたい。

問 体外受精など不妊治療で県の公費助成の回数を撤廃し、国の上限回数を超える治療には県が1回7万8,000円を助成し、本年7月から回数が撤廃された。来年以降もこれを堅持すべき。

答 基本的に堅持していく。

民生委員活動負担の軽減を

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 近年、民生委員になっていただく方が少なくなっている。民生委員をつくらせていくには、活動の負担を少なくしていくことが必要。一人で抱え込まないで、協力者と一緒に活動できる体制をつくることが大切では。

答 民生委員の活動を支援していく、地域としての環境づくりや支え合い活動の強化が必要である。我々としても問題意識を持って、民生委員の活動を支えられる地域づく

りを推進し、地域を発展させていく鍵として支え、応援したい。

鳥取県の観光政策について

谷村 悠介 議員



選挙区 鳥取市 無所属

問 ①小学生の飛行機運賃を助成するキッズサポートは成長して県外への移住定住を進め、税金を費やす事業として疑問だ。東京から来る子どもや大学生を対象としてはどうか②米子ソウル便は4〜5割代と厳しい搭乗率だ。搭乗率が5割を切れば引き際ではないか。

答 ①議員の意見も参考にし、航空需要の定着の模索を幅広く考えたい②平成19年の休止騒ぎで存続させるべきとの継続の意思があった。世界に開かれた定期路線を持続可能にしたい。

福祉の課題と石綿対策

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 ①みのり福祉会元理事長村田実氏の不起訴処分に関し、改善命令を出した知事の感想を問う②石綿健康被害防止条例一部改正に伴い、県職員の専門性を高め、診断士等の資格取得と連携強化を③民法改正に関わる離婚後の親子面会交流での民間活動支援を。

答 ①検察の課題でありコメントする立場でない。今後も地道にフォローする②石綿作業診断士資格取得を充実し実効性を図る③民間活動団体の実態と現状を探り県としての役割を果たす。

県産農水産物輸出拡大を

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

問 農水産物の輸出は、国内市場が縮小する中、海外市場は有望なマーケット。さらに、国は「攻めの農林水産業」を打ち出している。今が絶好のチャンスである。いっその輸出拡大の取り組みは。

答 ナシの輸出で先鞭をつけた県として輸出攻勢の一翼を担えればと考えており、世界のマーケットを考えた生産戦略を組み、売り込みを図っていく必要がある。政策面では国の政策誘導がある程度引き込みながら、輸出拡大の展開を強化して参りたい。

工業団地整備に支援を

興治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 ①県の工業団地整備支援は企業立地が決まった案件が対象だが、分譲用地がなくなった倉吉市や北栄町などは、立地決定以前の用地

取得や既存工場の解体撤去であっても支援し、整備を加速すべきだ②雇用人数が少なく、団地整備の助成対象とならない小規模の工場増設も支援するなど、工業団地再整備補助金は柔軟に運用すべきでは。

減を③東部可燃物処理第三次報告書は汚れたプラスチックを焼却する計画である。県環境影響評価をやり直し、住民説明を求める知事意見を。

不祥事の対応教育長に疑問

藤縄 喜和 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 続発する教職員の不祥事に対する教育長の姿勢を問う。記者会見、総務教育常任委員会等で教育長が前面に立たず逃げている。感覚が麻痺しているのでは。

答 (教育長)一連の対応について不信を招いているのなら私のいたるところであり批判を受けた。もう少し説明責任の果たし方があった。今後は注意していく。

淀江の処分場建設の中止を

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

問 生活環境影響調査報告書に対し、専門的な知識を持つ地元の方から80項目に及ぶ質問に、2か月後やっと事業者から回答があった。県は報告書をどう評価するのか。少し知識がある人が見ればあまりにもズサンだと言われている。問題はこんな報告書で良しとしている事業者や県の姿勢だ。

答 調査はまた案の段階。事業主体には風向、風速、地下水の流向等について追加調査し、信頼性を高めるため、専門家に意見を聞いてはどうかと提言した。

豪雨、子育て、東部ごみ処理

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①豪雨で被災した農家の負担軽減の為、国支援拡大と県農林市町村交付金増額を。土木技師増員を②保育所増設と学童保育料の軽

農業災害復旧 自己負担ゼロ

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 耕作放棄地をこれ以上生まな
いために、市町村との連携の強化
と、農業災害の復旧では、自己負
担をゼロにすべき。

答 総合事務所、災害対応は
一つにまとめながら対策を進めて
いるが、市町村でも一元的に窓口
を設ける等仕組み作りを議論し連
携推進を図る。県で自己負担ゼロ
の制度設計を提案したが市町村で
異なった。交付税措置が手厚く認め
られており、市町村側で進めるこ
とが可能であるので、これらをア
ピールして負担軽減に努めたい。

手話言語条例 県の医療体制

坂野 経一郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 絆

問 ①テレビ電話の利用で遠隔地
からの手話通訳が可能となる。持ち
運び可能なタブレット端末を、条例
の内実を充実させるため重点的に整
備したらどうか②鳥取市が要望して
いる看護師養成学校への1億5千万
円の補助金について問う。

答 ①ICTを活用したタブレッ
ト端末はNPO法人「ふくろう」
のようなどころにセンターになっ
て仲介してもらいモデルケース

として実施する②1億5千万円の
確たる根拠が不明なので、今後検
討する。

スポーツの 可能性を問う

浜崎 晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①東京五輪・パラリンピック
に向けて、スポーツを活用した地域
活性化、スポーツ振興、健康増進等
の機運醸成を図るための組織を知事
部局に設置しては②布勢総合運動
公園の魅力向上を図り、県のスポー
ツ拠点として充実強化すべきでは。

答 ①県教委とも協議し、新年度
に向け、組織体制を検討していき
たい②(教育長) 県教委として、
競技力向上のための機能強化等
ソフト面の対応を中心に知事部局
県体育協会、関係団体と連携をとっ
て取り組んでいきたい。

手話言語条例 核心は何か

稲田 寿久 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 反対ではないが、せつかく作
る条例なら、より良いものにすべ
き①厳密な意味で手話は言語な
のか②日本語と日本語対応手話
のいずれを採用するのか③口語法
要約筆記、人工内耳等の他の意思
伝達手段との関係は④手話言語法

(未制定)と条例との関係は⑤形式
的、内容的に条例の体裁が整って
いるか⑥条例を貫く原理原則は何
か。

答 いろいろ指摘いただいたが、
まずは箱をこしらえて、これから中
身をしっかりと詰めて立派な折り詰
めにする出発点の条例。ご理解を。

食の安心安全 政策の基本に

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 かけはし

問 地産地消と食育に取り組んだ
川瀬滋子鳥取市議が亡くなった。
その遺志を大切にという意味でも、「食
のみや」鳥取県は安心安全を基本
に置くべきではないか。大手食品
メーカーとのコラボも良いが、食
品添加物の推奨になってはならな
い。本物志向で取り組んで欲しい。

答 川瀬氏はかけがえのない先輩。
自ら汗をかき、現場に入っていく
姿を見習いたい。コラボは宣伝効
果が大きいが食の基本は安心安全。
食品添加物を推奨するつもりはな
く、今後の進め方は関係者と協議
したい。

鳥取看護大学 支援について

鉄永 幸紀 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①鳥取看護大学事業計画の現
有施設活用・教職員配置は妥当か

開学四年間の資金収入不足を基本
として考えてはどうか②新卒看護
師の大病院指向と第七次看護職員
需給見通しは。

答 ①今議会の議論の成果を踏ま
え、中部市町村と大学側との協議

2議員が一般質問

関西広域連合議会

鳥取県をはじめとして、関西の
2府5県4政令市で構成する関西
広域連合には、都道府県や市町村
と同様に議会があり、条例の制定
改廃や予算の議決などを行なっ
ている。鳥取県議会からも山口卓
福間裕隆、藤井省三の3名の議員
が関西広域連合議会議員として、
今年4回の本会議と、毎月1回程度
の常任委員会に出席している。

今年度の関西広域連合議会の本
会議は、6月29日に大阪府で臨時
会、8月29日に和歌山市で定例会
が開催された。

6月臨時
会では、山
口議員が、
道州制が地
域間の格差



山口議員

拡大と地方の一層の疲弊に繋がる
のではないかと、関西広域連合設立
後の総括、国土強靱化への取り組
みなどについて一般質問を行なっ
た。

井戸連合長(兵庫県知事)は、

の場で議論。その経過・結果は議
会に還元・報告し、最終的な助成
のあり方を決めていく②診療報酬
改定で、新卒看護師の大病院指向
が顕著。今後、需給状況をしっか
り把握する。

分権型社会実現の原点から、地方
の切り捨てに繋がる道州制になら
ないよう課題や懸念を指摘し、働
きかけていく。連合設立の成果と
して、防災・減災対策、海外トッ
ププロモーション、ドクターヘリ
の一体的運航、関西全体としての
農林水産振興などをあげた。また、
国土強靱化については、地域の安
全・安心対策や産業振興の見地か
ら積極的に受け止め、取り組んで
行きたいと答えた。

8月定例
会では、福
間議員が、
山陰海岸シ
オパークの



福間議員

推進と府県を越えた連携の必要性
について一般質問を行なった。

関西広域連合で山陰海岸シオ
パーク推進担当である平井委員(鳥
取県知事)は、認知度向上の取組
の効果や世界ジオパーク再認定に
向けて広域連合として取り組むな
どと答弁した。